

R 6 営繕 椿泊漁港 阿南・椿 荷さばき所新築工事管（担い手確保型）

通し番号	図面番号	図 面 名	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名	縮尺
01	共-00	表紙・図面目録	NO SCALE	17	P-11	1階消火設備図	1/200
02	共-01	営繕工事共通仕様書(1)	NO SCALE	18	P-12	2・3階消火設備図	1/200
03	共-02	営繕工事共通仕様書(2)	NO SCALE	19	P-13	浄化槽詳細図（参考図）	1/50
04	共-03	営繕工事共通仕様書(3)	NO SCALE	【以下 参考図（本工事対象外）】			
05	機特-01	機械設備工事特記仕様書(1)	NO SCALE	20	SP-01	海水処理設備 機器表（参考図）	NO SCALE
06	機特-02	機械設備工事特記仕様書(2)	NO SCALE	21	SP-02	海水処理設備 系統図（参考図）	NO SCALE
07	P-01	配置図・付近見取図	1/200	22	SP-03	海水処理設備 1階平面図(1)（参考図）	1/100
08	P-02	管工事機器表	NO SCALE	23	SP-04	海水処理設備 1階平面図(2)（参考図）	1/100
09	P-03	衛生器具表及び部分詳細図	NO SCALE	24	SP-05	海水処理設備 1階機械室詳細図（参考図）	1/50
10	P-04	上水給水及び排水通気系統図	NO SCALE	25	SP-06	海水処理設備 2階平面図(1)（参考図）	1/100
11	P-05	1階管工事設備図	1/200	26	SP-07	海水処理設備 2階平面図(2)（参考図）	1/100
12	P-06	2・3階管工事設備図	1/200	27	SP-08	海水処理設備 清浄海水動力制御盤外形図・単線結線図・配線図（参考図）	NO SCALE
13	P-07	1階南側管工事詳細図	1/50	28	SP-09	海水処理設備 ろ過機制御盤外形図・単線結線図・配線図（参考図）	NO SCALE
14	P-08	1階北側管工事詳細図	1/50・1/30	29	SP-10	海水処理設備 活魚水槽制御盤外形図・単線結線図・配線図（参考図）	NO SCALE
15	P-09	2・3階管工事詳細図	1/50	30	SP-11	海水処理設備 活魚水槽ユニット参考図（参考図）	1/25
16	P-10	消火設備系統図・計算書	NO SCALE	31	SP-12	海水処理設備 活魚水槽システム参考配管図（参考図）	1/50

課 長	副 課 長	課長補佐	主査兼係長	係 長	課 員	担 当

22. 完成図等

- 電子納品：対象
- 受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」という。）すること。
- 提出書類
 - 竣工図（製本3部、電子データ2部）（サイズ：監督員の指示による）
 - 工事写真（電子データ2部）
 - 使用材料一覧表（竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部）
 - 保全に関する資料
 - その他監督員の指示する図書（必要部数）
- しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。
- 工事写真の電子データは完成写真、着事前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。
- 工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

区 分	サイズ
着 手 前	カラー、手札版又はサービスサイズ
施 工 中	カラー、手札版又はサービスサイズ
完成写真	カラー、手札版又はサービスサイズ

- 工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。
- 既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

23. デジタル工事写真の小黑板情報電子化

- 受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。
- 対象工事は、徳島県OALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。

24. 火災保険

本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条）

- 対象物
工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。
- 付保除外工事
次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。
 - 杭及び基礎工事
 - コンクリート躯体工事
 - 屋外付帯工事
 - その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）
- 付保する時期及び金額
鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。
- 保険終期
工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。
- その他
 - 付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。
 - 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

25. 公共事業労務費調査

- 当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
- 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
- 受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

26. 暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除

- 受注者は、工事の施工に関し、暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（2）に規定する場合は、下請負人から報告があったとき）には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。
- 受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けしなければならない。
- 受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。
- 受注者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期内に工事が完成しないと認められる場合は、「徳島県公共工事標準請負約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。
- 受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。
- 受注者は、前項被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R 6 営繕 椿泊漁港 阿南・椿 荷さばき所新築工事管 (担い手確保型)	●図面番号 共-03	株式会社 橋 建 築 事 務 所 一般建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 TEL 089-625-7878 FAX 089-625-7885 一般建築士登録 第323795号 森岡康明
		●図面名 営繕工事共通仕様書(3)	●縮尺 NO SCALE	

6. 配管工事

- (1) 配管材料については、次表による。

用 途	名 称	番 号	備 考
給 水 ※市給水引込以外	<input type="radio"/> 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP
排水・通気	<input type="radio"/> 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
排水	<input type="radio"/> 硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K 6741	VP
給 湯	<input type="radio"/> ポリブテン管(JIS K 6778)又は図示による		
消 火	<input type="radio"/> 配管用炭素鋼管(白)	JIS G 3452	SGP

(注) 表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。

- (2) ステンレス鋼管の接合方法は、呼び径60Su以下の継手はSAS322による拡管式とする。
(3) 冷媒管に使用する断熱材被覆銅管の断熱厚さは、液管は10mm以上、ガス管を20mm以上とする。
(4) 建築物導入部の変位吸収方法は、標準図による。
(6) 図面に記載なき防振継手は、（ 合成ゴム製 ・ペローズ形 ）とする。
(7) 弁類で、ステンレス鋼管に取り付けるものは、呼径50以下は青銅製、呼径65以上はステンレス製とする。
(8) 配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う。（標仕<2>2. 6. 1. <2>2. 6. 3)
(9) 床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。
(10) 地中配管は次による。（標仕<2>2. 7. 1. 監理指針<2>2. 7. 1. 標準図【機材2】）
・排水管 標仕の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを遣り方にならない敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、山砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。
・排水管以外 管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、埋設表示（表示テープ及び埋設標）を行う。
(11) 水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠ぺい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。（標仕<2>2. 9. 1）

7. 保温・塗装工事

- (1) 保温工事
・建物内エア抜き管の保温（エア抜き弁以降の配管は除く）は、標仕<2>3. 1. 4の温水管の項による。
・給水用配管でポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。
・上記の他、本工事における保温工事の種別（仕様）は次による。

場所【管種】	保 温 種 別
荷さばき室内（屋内） 【給水・消火・海水】	グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋ステンレス鋼板
機械室内 【給水・海水】	グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋合成樹脂製カバー 1
ピット内 【給水】	ポリステレンフォーム保温筒＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
【海水】	グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋着色アルミガラスクロス
屋外露出部分 【給水・海水】	グラスウール保温筒＋鉄線＋ポリエチレンフィルム＋ステンレス鋼板

- (2) 塗装工事
・次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち垂鉛めつき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。（ ダクトスペース、パイプシャフト内 機械室内 ）
・次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。（ 一般居室、廊下等 ・ ）
・屋内、屋外及びピット内の支持金物等のうち、ステンレス製又は溶融亜鉛めつき製のものは、原則塗装不要とする。
・硬質塩化ビニル管にカラーパイブを使用する場合は、監督員との協議により塗装を省略することが出来る。

8. その他共通事項

- (1) 支持金物等
・屋外及びピット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めつき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めつきを施したものである。
(2) 用途等の表示
・機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。（標仕 <1>1. 7. 4）
なお、屋外及び水気のある場所（弁枘内等を含む）での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。
(3) 制御配線、計装配線等
・使用する電線及びケーブルは、標仕<4>1. 5. 1 表4. 1. 111による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。

3章 衛生器具設備

1. 小便器用節水装置

図面に特記なき場合は、洗浄水量が4L／回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。

形式 小便器一体型 ・小便器分離型
方式 個別感知の電源種別（ AC電源 ・ ）

2. 自動水栓

電源種別（AC電源 ・自己発電 ・ ）

3. 大便器

大便器の洗浄水量は6. 5L／回以下とする。

4. 施工

- (1) 衛生器具をコンクリート又はれんが壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。（標仕<5>2. 1. 1）
(2) 衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付けする場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。（監理指針<5>2. 1. 1）
(3) 衛生器具と排水管の接続は、標準図【施工65】大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとビニル管接続要領 による。

4章 給水設備

1. 配管材料等

- (1) ビニル管の接合方法は（ 接着接合 ・ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする））とする。
(2) 特記なき給水管の最小管径は呼径20とする。
(3) 水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。

2. 量水器・量水器枱

- (1) 量水器
・親メーター （ 借用 ・買取（ ・現地表示式（直読式） ・遠隔表示式（パルス式））
(2) 量水器枱
・親メーター用 （ 水道事業者の指定品 ・標準図【機材57】量水器枱 ）

3. 弁類

- (1) 弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分はJIS-10Kとする。
(2) 給水引込部の（ 止水栓 弁枘）は水道事業者の指定品とする。
(3) 定水位調整弁は（ 標準仕様書による（付属品含む） ・水道事業者指定品 ）とする。
なお、定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。
(4) 緊急遮断弁装置の屋外に設置する制御盤は、ステンレス製とする。

4. 水栓・水栓柱

- (1) 水栓
・屋外の水栓は（ ・キー式ハンドル 図示 ）による。
・台所流し用の水栓は、泡沫式とする。
(2) 水栓柱
・合成樹脂製 ・アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼製 図示

5章 給湯設備

1. 配管材料等

- (1) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造者の標準品とする。

6章 消火設備

1. 弁類

- (1) 消火栓開閉弁は（ 10K ・16K ）とする。

2. 保温工事

- (1) 呼水タンクの保温 施工しない ・施工する
(2) 消火配管の保温は次による。（保温種別は2章-7.保温・塗装工事による。）
・屋内消火栓 ・施工しない 施工する

3. 屋内消火栓・屋外消火栓箱・ホース格納箱

- (1) 屋内消火栓
・広範囲型2号消火栓 易操作性1号消火栓 ・1号消火栓 ・2号消火栓

7章 浄化槽設備

1. 機材・施工

- (1) ユニット型浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。「本体構造等」（標仕<8>3. 1. 1）で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。
(2) 浄化槽の蓋（枠を含む）は、溶融亜鉛めつき仕上げの銅板製若しくは溶融亜鉛めつき仕上げの鋳鉄製とし、固定が確実で、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。
(3) ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。

	徳島県土木整備部営繕課	●工事名 R 6 営繕 椿泊漁港 阿南・椿 荷さばき所新築工事管（担い手確保型）	●図面番号 機特-02
		●図面名 機械設備工事特記仕様書(2)	株式会社橋 建築 事務所 一級建築士事務所登録 徳島県知事 第11009号 〒770-0868 徳島市福高2丁目5番9号 TEL 088-625-7878 FAX 088-625-7885 一級建築士登録 第33705号 森田康明
			●縮尺 NO SCALE



計画地：徳島県阿南市榑町谷ノ浦 地先

出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図
電子地形図25,000(国土地理院)を加工して作成

阿南市立榑町中学校

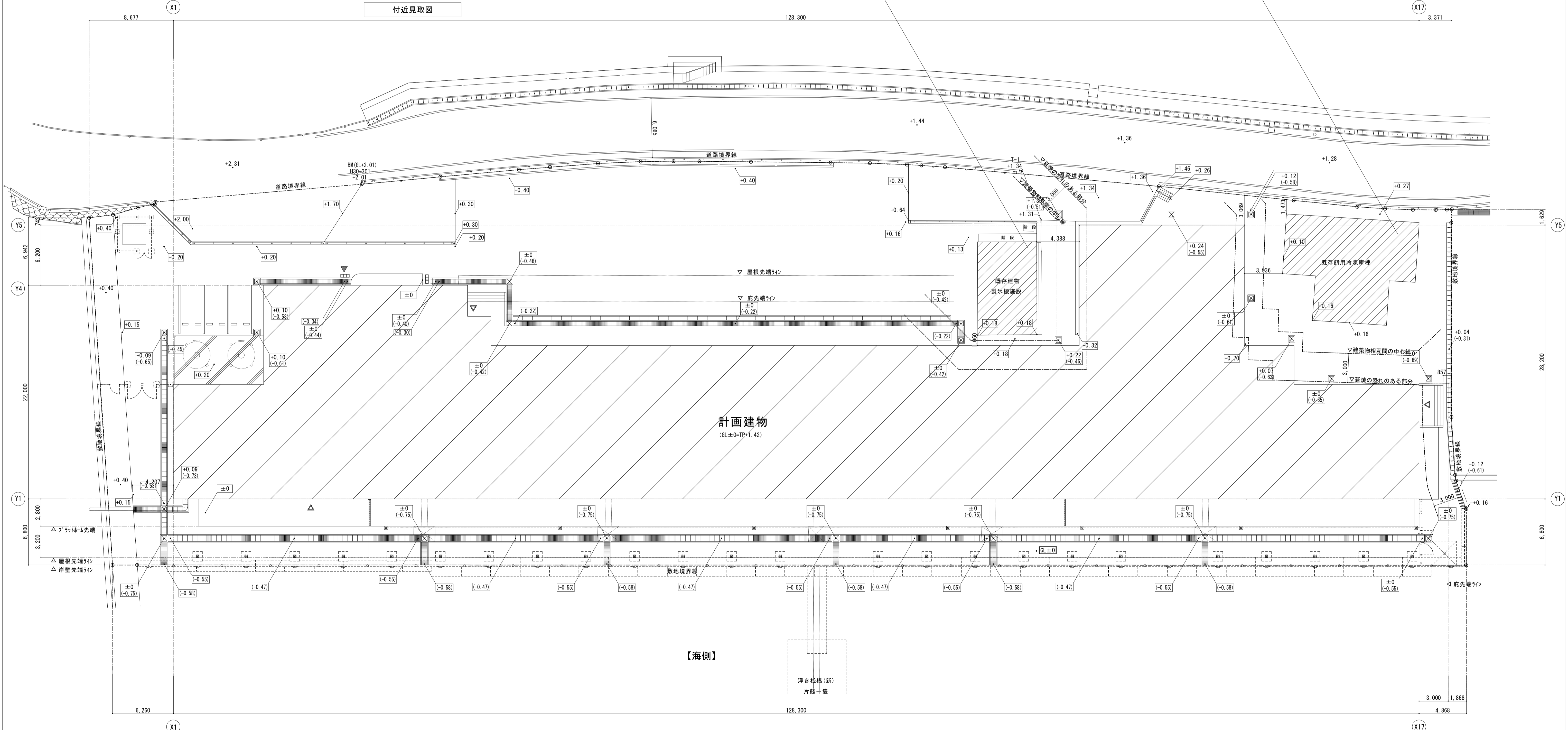
既存建物 製氷機施設			
鉄骨ラーメン構造 地上：3階建て			
1階床面積	5,950×9,450	=56,227.5	56.22
2階床面積	5,950×9,450	=56,227.5	56.22
3階床面積	5,950×6,800	=40,460	40.46
延床面積		152,915	152.90 m ²
建築面積		56,227.5	56.22 m ²

既存建物 餌用冷凍庫棟			
RC構造 地上：1階建て			
1階床面積	13,500×6,000+7,450×4,600	=115,270	115.27
延床面積			115.27 m ²
建築面積			115.27 m ²

座標一覧表		
点名	X座標	Y座標
H30-301	93757.347	110332.130
T-1	93823.223	110347.559

※EL+2.4=GL±0=T.P+1.42とする。

レベル表示凡例	
+1.36	GL±0からの現況レベルを示す
(-0.57)	GL±0からの現況側溝・会所併設レベルを示す
+1.31	計画レベルを示す
(-0.55)	計画側溝・会所併設レベルを示す



配置図 1/200

機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所
EB 1	電気温水器	屋内設置型、角形200リットル 定格消費電力：沸き上げヒーター用 単相200V-2.4kW、制御用 単相200V-10W 圧力：標準圧力型 安全装置：温度過昇防止器、漏電遮断器、缶体保護弁、減圧弁内蔵 絶縁バッド付、負圧弁付自動空気抜き弁、給水・給湯水抜き栓付 耐震固定金具付、天部カバー 脚部カバー共、間接排水金具共、リモコンスイッチ共（専用ケーブル10m） 満水時重量 約250kg	単相200V	1	2階湯沸室
EB 2	小型電気温水器	据え置き型、 貯湯量12リットル、消費電力：1.5kW 給水方式：先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵） 安全装置：温度過昇防止器 膨張水排水ホース共 密閉式排水ホース付、耐震用脚 満水時重量 約21kg	単相200V	12	1階サニタリ① (1) 1階サニタリ② (2) 1階サニタリ④ (2) 1階サニタリ⑤ (2) 男子便所（北側）(1) 女子便所（北側）(1) 1階入札室 (2) 2階湯沸室 (1)
EB 3	小型電気温水器	壁掛型、 貯湯量3リットル、消費電力：0.6kW 給水方式：先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵） 安全装置：温度過昇防止器 膨張水排水ホース共 密閉式排水ホース付 満水時重量 約6kg	単相100V	7 (衛生器具に含める)	男子便所（南側）(3) 女子便所（南側）(3) 多目的便所 (1)
GT 1	グリーストラップ	建築工事		1	プラットホーム
S 1	合併処理浄化槽	FRP製30人槽 放流ポンプ槽付 分離嫌気床担体流動方式等による 上下スラブ支柱による埋設工事共（T-6）荷重 土留工事一式共	単相100V	1	

※特記事項

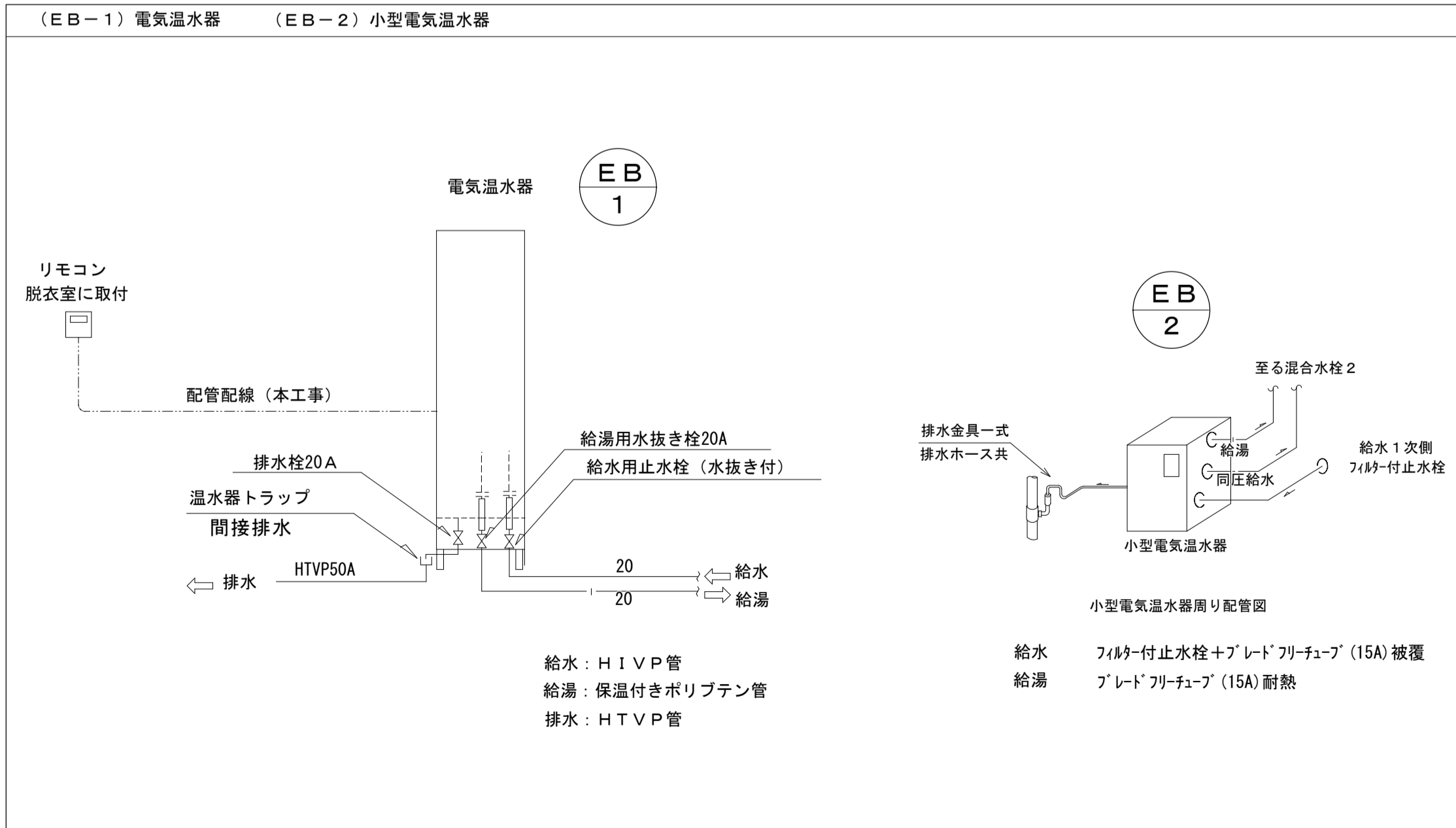
- 電気温水器への接続は下記による。
給湯 給水給湯水抜き弁セット（本体付属品）
排水 排水栓20A
- 小型電気温水器への接続は下記による。
給水 フィルター付止水栓+ブレードリフトアップ（15A）被覆
給湯 ブレードリフトアップ（15A）耐熱
- 電気温水器についてはリモコン共とし、リモコン工事（配線共）本工事とする。
- 電気温水器は、平成24年国土交通省告示第1447号による転倒防止措置のこと。
(満水時重量15kg以上)
- EB-3については、衛生器具に含める。

機器表

記号	機器名称	仕様	電源	基礎工事	台数	設置場所
TW 1	受水槽 加圧給水ポンプユニット (重耐塩仕様)	・受水槽 呼称容量：5.0m ³ 耐震：1.0G 単板 マンホール（南京錠共）、各タッピング、内外梯子 通気孔、防波板 ・ポンプ ステンレス製、インバータ制御、自動交互並列運転 推定末端圧一定型 50φ×40φ×200L/min×30m×（1.5kW×2台） 制御盤、他付属品一式共	三相200V	200H (建築工事)	1基	屋外
PU 1	汚物中継槽ユニット	呼称容量：1.0m ³ （有効0.95m ³ ） FRP製 汚水・汚物水中ポンプ 強化樹脂製、ボルテックスタイプ、自動交互内蔵型 65φ×250L/min×6m×（1.5kW×2台） 制御盤（屋外壁掛型SUS製）、他付属品一式共 上部蓋（溶融亜鉛めっき）T-2荷重 流入管径GL-500、φ100 樹脂製着脱装置、ガイドパイプ、汚物用チャッキ弁 制御盤+別付フロートスイッチによる自動交互並列運転 ポンプ吊下げ用SUSチェーン、フロートスイッチ共	三相200V		1基	屋外
PFU 1	消火ポンプユニット	ユニット型、吸込み型、（財）日本消防設備安全センター認定品 50φ×40φ×300L/min×63m×5.5kW（三相200V） 呼水槽、流量計、制御盤、消火栓起動リレー内蔵 消火水槽満減警報回路付（電極・配管配線共） GV、CV、PG、FJ、運成計他付属品一式共 吸込フランジセット、SUSフット弁	三相200V	150H (建築工事)	1台	ポンプ室
PFU 2	補助加圧ポンプ	小形加圧給水ポンプユニット 25φ×30L/min×20m×0.4kW（三相200V） 屋内設置、吸込み、 運転・故障信号出力付 付属品一式共	三相200V	150H (建築工事)	1台	ポンプ室
HB 1A	屋内消火栓	易操作性1号消火栓、標準図記号：HB-1A、750×1400×200（参考） 総合埋込形（火報併設形）、SUS製指定色塗装仕上（t=1.5mm） バルブ：30A×90度（起動確認スイッチ付）、アングル弁ねじ式（接続口径40A） 噴霧ノズル：13φ、噴霧切換ノズル 1本 保形ホース：30A×30m 1本 起動方法：バルブ運動方式 他付属品一式共、信号用リード線は発信機に接続のこと。			4	
HB 1B	屋内消火栓	易操作性1号消火栓、標準図記号：HB-1B、750×1400×200（参考） 総合露出形（火報併設形）、SUS製指定色塗装仕上（t=1.5mm） バルブ：30A×90度（起動確認スイッチ付）、アングル弁ねじ式（接続口径40A） 噴霧ノズル：13φ、噴霧切換ノズル 1本 保形ホース：30A×30m 1本 起動方法：バルブ運動方式 他付属品一式共、信号用リード線は発信機に接続のこと。			2	

※特記事項

- 機器仕様は、国土交通省仕様とする。
- 消火栓の使用圧（ノズル放水圧力）は、0.17MPa～0.7MPa（1.7～7kg/cm²）とする。
- 易操作性はバルブ開閉によるスイッチ方式であるため、信号リード線を発信機に接続のこと。
- 加圧給水ポンプは、汚物中継槽ユニット等に付属の制御盤については、製造者の標準品とする。



樹リスト表 (汚水雑排水系統)

記号	名称	樹寸法	上部蓋	BM±0からの地盤高さ	BM±0からの参考管底	周囲地盤からの参考管底	備考
A	汚水樹	φ200	塩ビ製内蓋+防護蓋	BM±0	-300	GL-300	90度曲がり
B	〃	〃	〃	〃	-390	-390	〃
C	〃	〃	鑄鉄製蓋 T-2	BM+70	-450	-520	〃
D	〃	〃	〃	〃	-490	-560	90度合流
E	〃	〃	〃	〃	-430	-500	90度曲がり
F	〃	〃	〃	〃	-450	-520	90度合流
G	〃	〃	〃	〃	-460	-530	90度曲がり
H	〃	〃	塩ビ製内蓋+防護蓋	BM±0	-480	-480	90度曲がり
I	〃	〃	〃	〃	-530	-530	90度合流
J	〃	〃	〃	〃	-550	-550	〃
K	〃	〃	〃	BM+50	-560	-610	〃
L	〃	〃	〃	〃	-575	-625	〃
M	〃	〃	〃	BM+100	-590	-690	〃
N	〃	〃	〃	〃	-600	-700	ストレート
O	〃	〃	〃	〃	-550	-650	90度曲がり
P	〃	〃	〃	〃	-580	-680	〃

- 上記樹は全て塩ビ製樹とする。
- 鑄鉄製防護フタの仕様は下記とする。
T-14 荷重、標準型バルブ穴・鎖付

衛生器具表

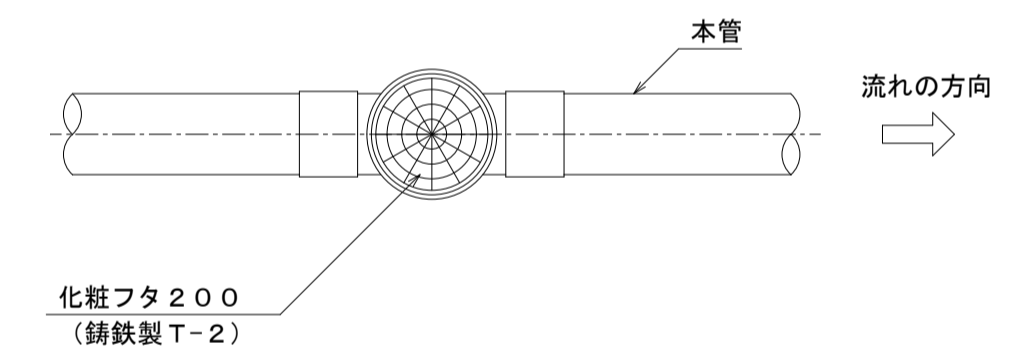
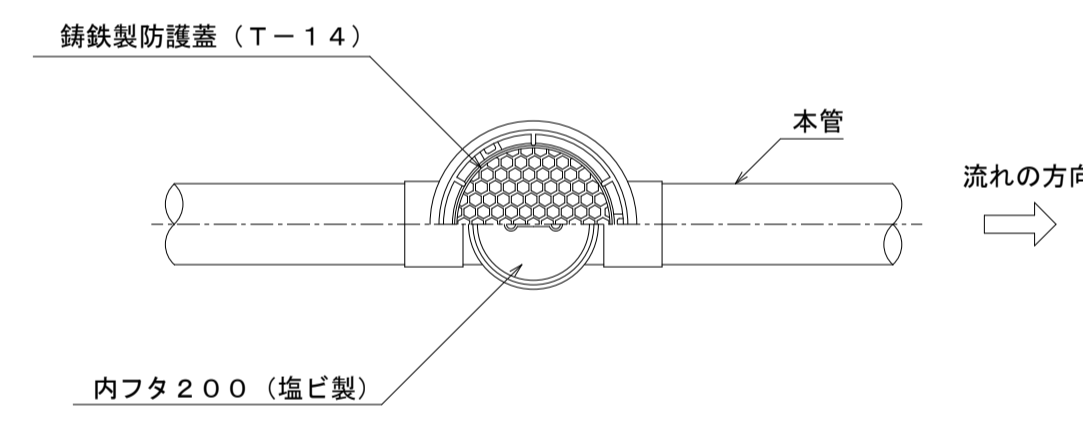
※表示型番及び図面は参考とし、承認図にて確認のうえ決定のこと ※図示装置及び仕様欄の記載は便宜上TOTOの内容としており、全て参考とする。(器具(P)は除く。)
 要注者は図示TOTO又はLIXILの型番により採用器具を選定し、納入仕様書を監督員に提出の上、承諾を得ること。

(A) 壁掛式便器	(B) 自動洗浄小便器	(C) 掃除流し	(D) カウンター洗面器	(E) カウンター洗面器	(F) 壁掛洗面器	(G) L形手すり	(H) 洗面器用手すり
<p>洗浄暖房便座 脱臭機能付 定格消費電力 314W 便座ふたあり リモコン便器洗浄タイプ センサースイッチ ケアレットP相当</p> <p>欄付二連紙巻器</p>	<p>AC100V</p>		<p>1階女子便所</p> <p>鏡 建築物 カウンタ 洗面器 本工事</p> <p>電気温水器 (EB-3) 水石給排水装置 自動水栓</p>	<p>1階男子便所</p> <p>鏡 建築物 カウンタ 洗面器 本工事</p> <p>電気温水器 (EB-3) 水石給排水装置 自動水栓</p>			<p>1F男子便所 1F女子便所</p> <p>洗面器1台に対し、2個取付</p>
バブリック用2in1付便器、フロッグ付式	壁掛排水小便器(低リブ)	バブリック用流し	カウンタ奥行600mm、フロッグ付なし(建築物)	カウンタ奥行600mm、フロッグ付なし(建築物)	壁掛洗面器	前出寸法90mm	人口大理石カウンター用
掃除口排水固定タイプ	小便器自動フロッグ付 (AC100V 超節水タイプ)	リブ付、L型式横水栓20mm	台付自動水栓 (AC100V) (単水栓)	台付自動水栓 (AC100V) (単水栓)	台付自動水栓 (AC100V)	樹脂被覆タイプ、長さ:700mm×700mm	コンビネーションタイプ
欄付二連紙巻器 TOTO(YH702) LIXIL(GF-AA64)	掃除口付タイプ、塩付排水管	フロッグ付止水栓、バブリック付、S1タイプ排水金具	壁排水金具(PTラップ) 自動水石給排水	壁排水金具(PTラップ) 自動水石給排水	壁排水金具(PTラップ)	握り径:Φ34、スチール製	握り径:Φ34
TOTO CF5498BK + TCF589AE	付属品一式共		壁掛型電気温水器(3L) (適温出湯タイプ)	壁掛型電気温水器(3L) (適温出湯タイプ)	付属品一式共	取付金具共	取付金具共
LIXIL BC-P110SMA + DD-PA150CH	TOTO UFS900JCS	TOTO SK22A+T23AE020C+TN114	TOTO LS01 + TL25SS1A + TLK07S01JA	TOTO LS01 + TL25SS1A + TLK07S01JA	TOTO LS722CM + TLE25S1A	TOTO T112CL9	TOTO T114CP5R
CW-PB21LQE-NE-R2、CF-020-SET	LIXIL U-A12AP	LIXIL S-202A+LF-JEZ-19+SF202	LIXIL L-2250+AW-330CV1+KS-941MTP	LIXIL L-2250+AW-330CV1+KS-941MTP	LIXIL L-555N+AM-330CV1	LIXIL KF-920AE70D12J	LIXIL BB-DC3J
(I) ハンドドライヤー	(J) 洗濯機	(K) フィッティングボード	(L) シングル混合水栓	(M) 洗濯用水栓	(N) 横水栓	(O) 小便器用手すり	(P) 自動手指洗浄消毒器
					<p>N1 普通ノズル N2 キーノズル</p>		<p>泡石けん 消毒液 泡石けん液 消毒液 電気温水器 (EB-2) 耐震固定 混合水栓</p>
吸引・高速タイプ	800サイズ	樹脂製	台付タイプ	緊急止水弁付横水栓	ホース接続・差し込み式	ステンレス製、樹脂被覆タイプ	壁付型 石けん液泡タイプ
AC100V×消費電力920W	800×640	400×87(使用時560)×560	エコシングル	逆止弁機能付	13mm、節水コマ、逆止弁	握り径:Φ34、スチール製	電源電圧:AC100V(本体DC12V)
HEPAフィルター付 PTCヒーター	縦引き排水トラップ	取付金具共			カップリング式	取付金具共	消費電力:9W 赤外線センサー式 混合水栓共
TOTO TYC430WJ	TOTO PWP800N2W+PJ2009NW	TOTO YKA41R	TOTO TKS05310J	TOTO TW1GR	TOTO N1 T28AUNH13 N2 T28AKUH13	TOTO T112CU22	サハラ:WS-3000F相当品
LIXIL KS-570AH	LIXIL PF-8064AC+TP-51	LIXIL AC-08-01	LIXIL SF-WM430SY	LIXIL LF-WJ38RHA	LIXIL N1 LF-35-13-CV N2 LF-356-13-CV	LIXIL KF-701AEJ	

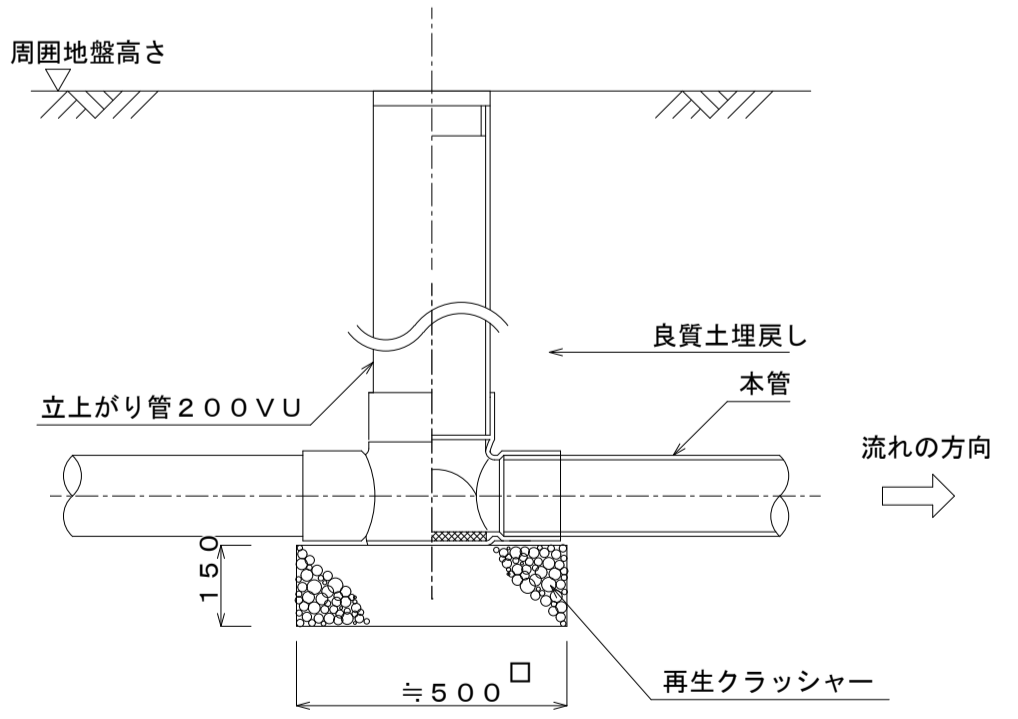
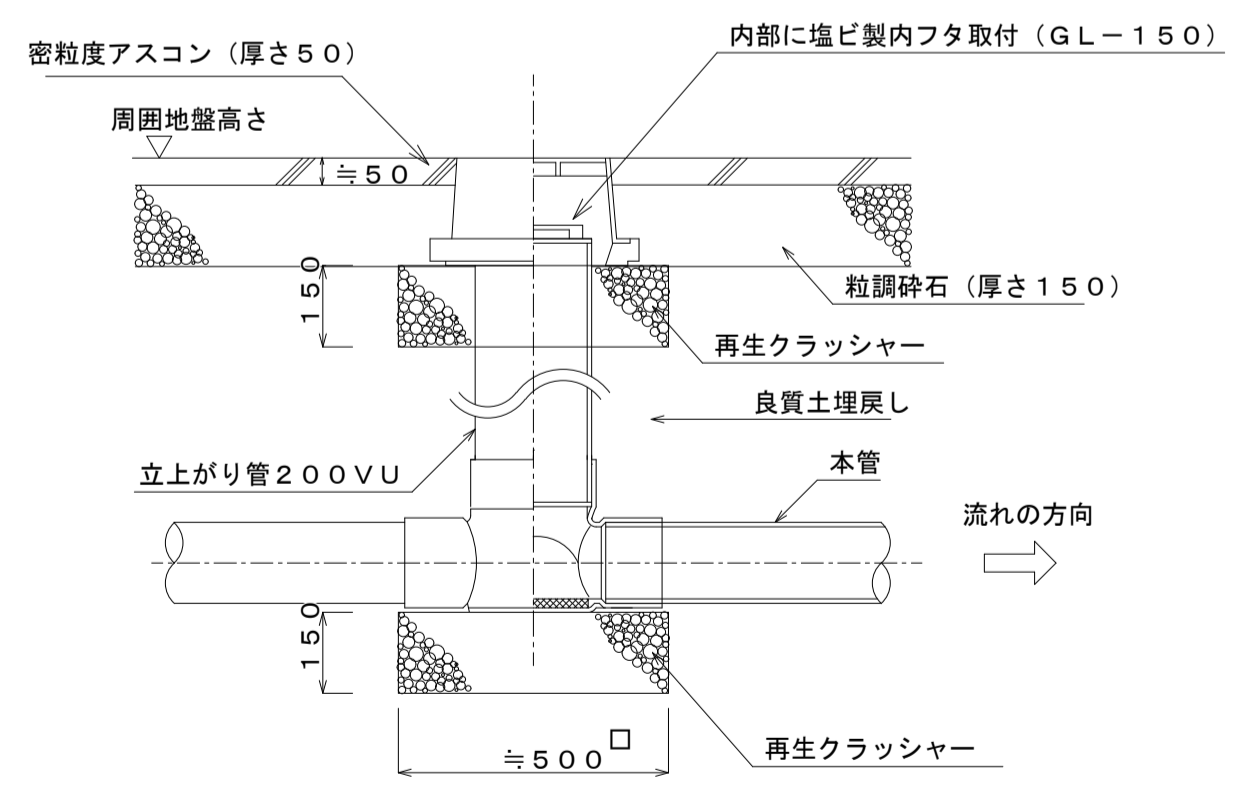
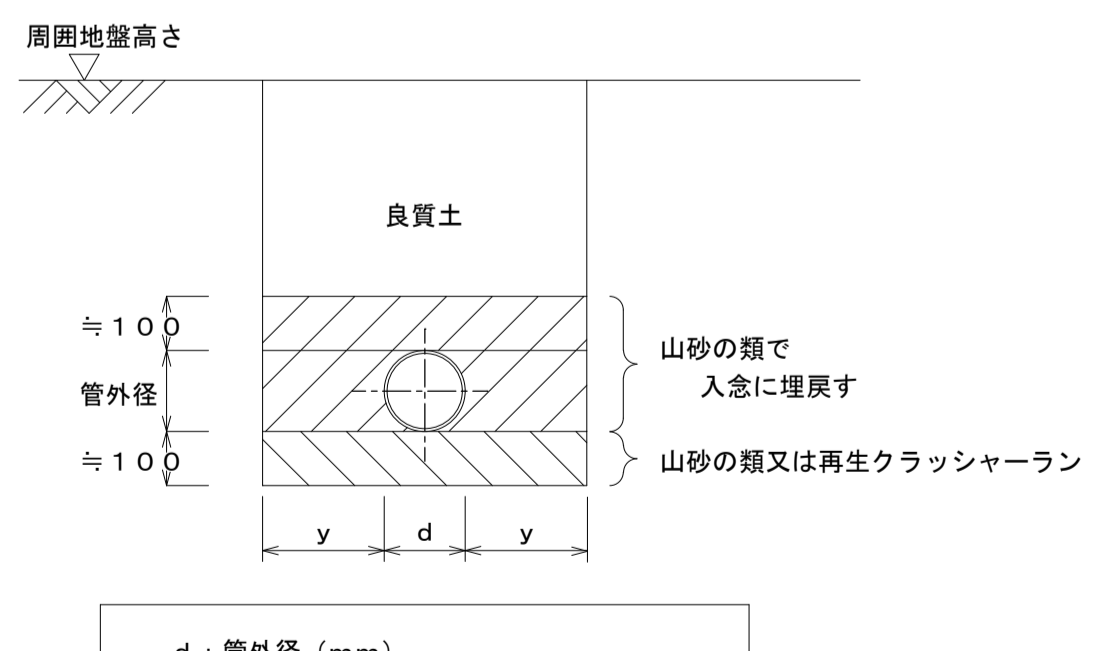
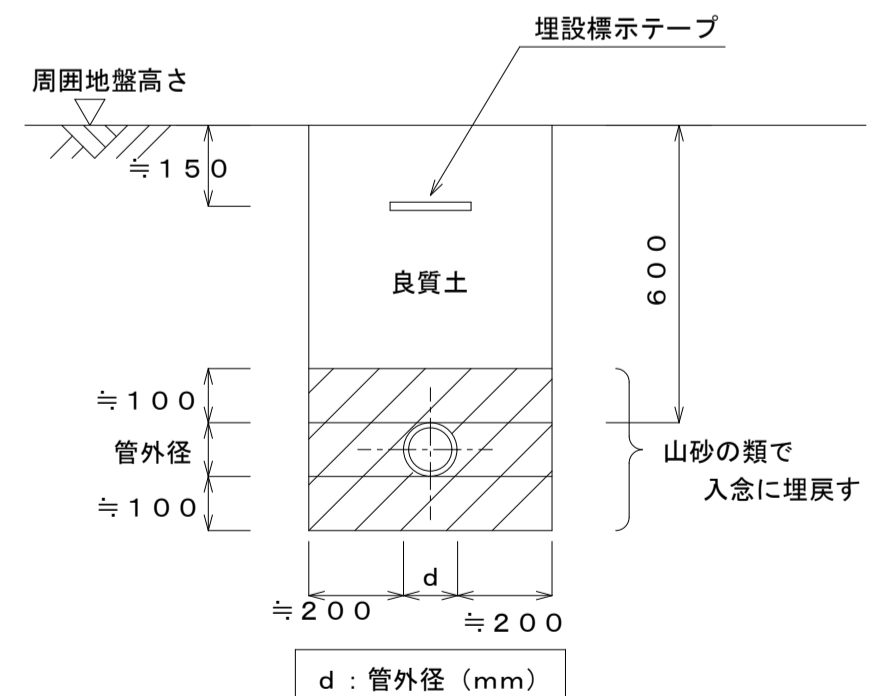
(Q) コンパクト・バリアフリートイレバック

<p>約1,600 約1,780</p>	<p>大便器</p> <p>壁掛排水大便器</p>	<p>汚物流し</p> <p>電気温水器 容量3L 600W (EB-3) 紙巻器 アルミ製、ワンハンドカット機能付き</p>
<p>ロータンク (大便器)</p>	<p>タッチスイッチ式 防露タンク (樹脂製)</p>	<p>樹脂製</p>
<p>便座</p>	<p>洗浄暖房便座 瞬間式 ふたなし 乾燥機能付き AC100V 1280W</p>	<p>甲板 人工大理石 (アクリル系樹脂) 前板 塩ビ樹脂板</p>
<p>手洗器</p>	<p>セルフリム手洗器 自動水栓 2.0L/分 常時0.4W 作動時0.6W 水石けん入れ共</p>	<p>幅木 ステンレスヘアライン仕上げ 設置フレーム 亜鉛めっき鋼板</p>
<p>洗面器</p>	<p>セルフリム洗面器 自動水栓 2.0L/分 常時0.4W 作動時0.6W 水石けん入れ共 電気温水器 容量1L 505W</p>	<p>側板 木質製 L型幅木:ステンレス製 化粧鏡 洗面器前、480×1100</p>
<p>背もたれ</p>	<p>固定式、ソフトタイプ</p>	<p>TOTO UADAK21R1A1ADD2BA</p>
<p>手すり</p>	<p>樹脂被覆タイプ 壁掛便器用可動式手すり(はね上げタイプ、ロック付)</p>	<p>LIXIL PTWC-HC101R1A1AWWL 化粧鏡 YMK52K</p>
<p>二連紙巻器</p>	<p>アルミ製、ワンハンドカット機能付き</p>	<p>CW-PC12-CK-UR-TU 化粧鏡 KF-5010AG</p>
<p>汚物流し</p>	<p>壁掛排水汚物流し</p>	
<p>ロータンク (汚物流し)</p>	<p>タッチスイッチ式 防露タンク (樹脂製) リモコン便器洗浄ユニット AC100V</p>	

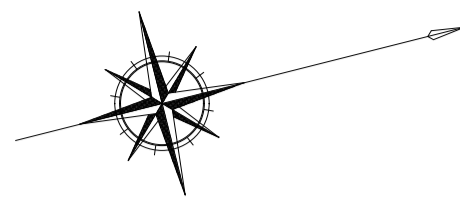
部分詳細図



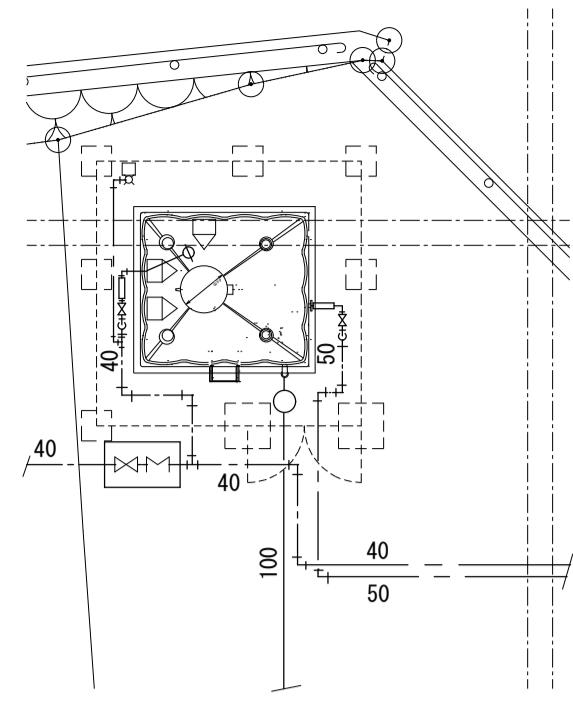
部分詳細図



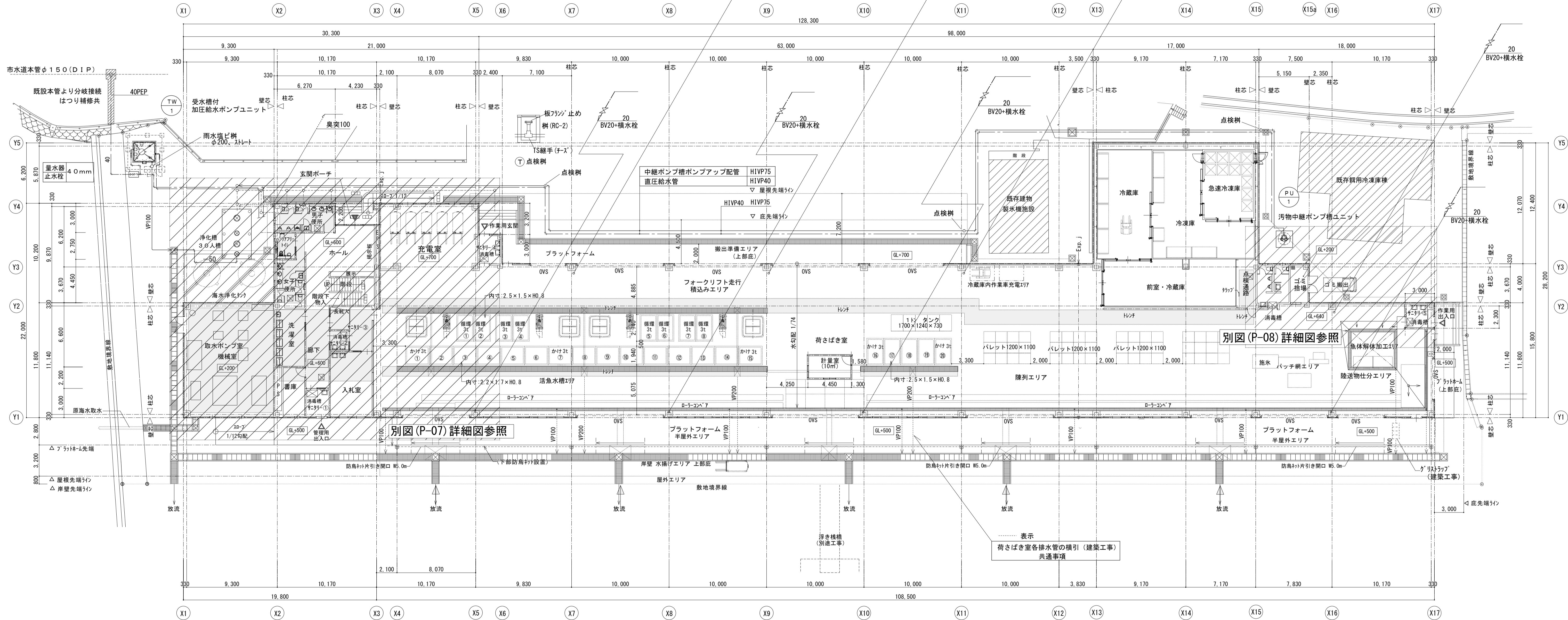
※注意事項
 本体と防護フタは隙間を空けて据付のこと。
 上部荷重が直接本体にからない様に据付のこと。



屋外	数
N② 横水栓(キー式)	1
ステンレス製水栓柱900H	1

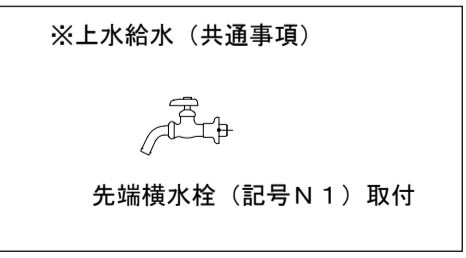


- ※特記事項
1. 本工にて40mmの加入金を納入とする。
 2. 量水器は貸与品であるが、止水栓と量水器ボックスは本工とする。
 3. 水道本管150φ(DIP)からPEPにての分岐接続工事も本工とする。
 4. 既設25mm引込(場所不明)は閉栓(キャップ止め)とし、水道局に返納する。
尚、止水栓、止水栓ボックス、量水器ボックスは撤去とする。



別図(P-07)詳細図参照

別図(P-08)詳細図参照

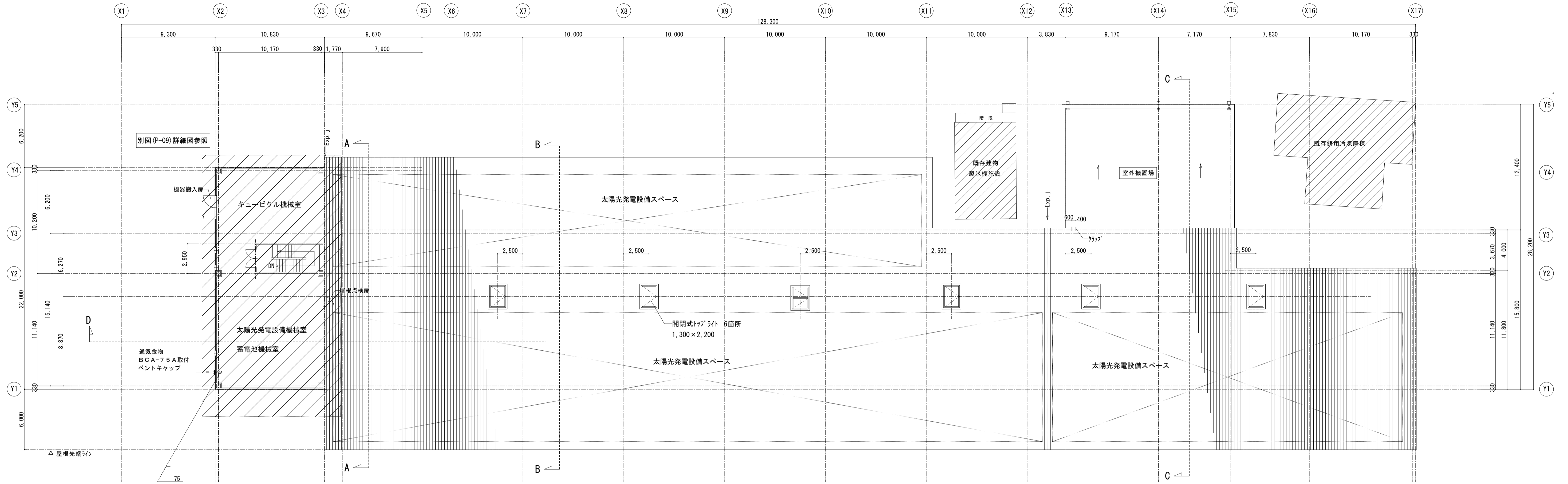


1階管工事設備図 1/200

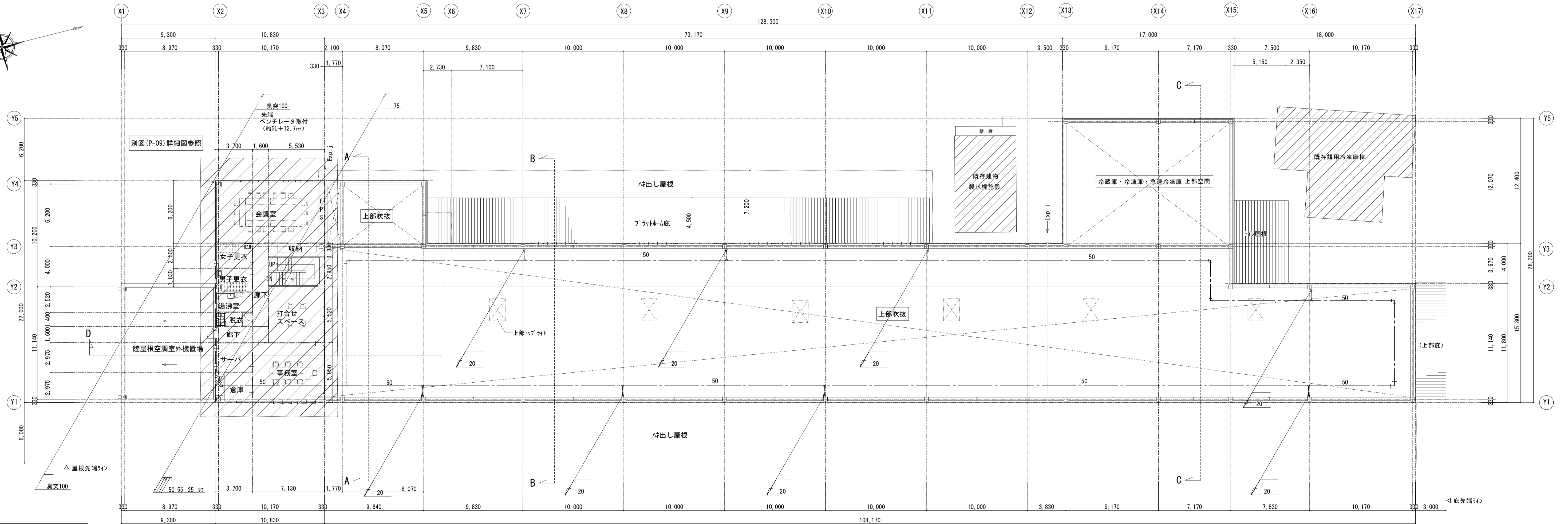
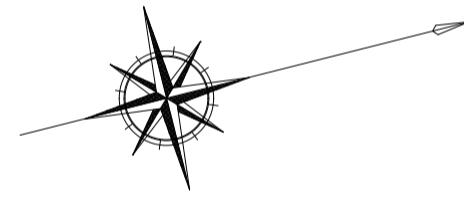
：ピタ及び引込範囲を示す。

※雨水配管(立てとい横引を含む) 全て建築工事とする。

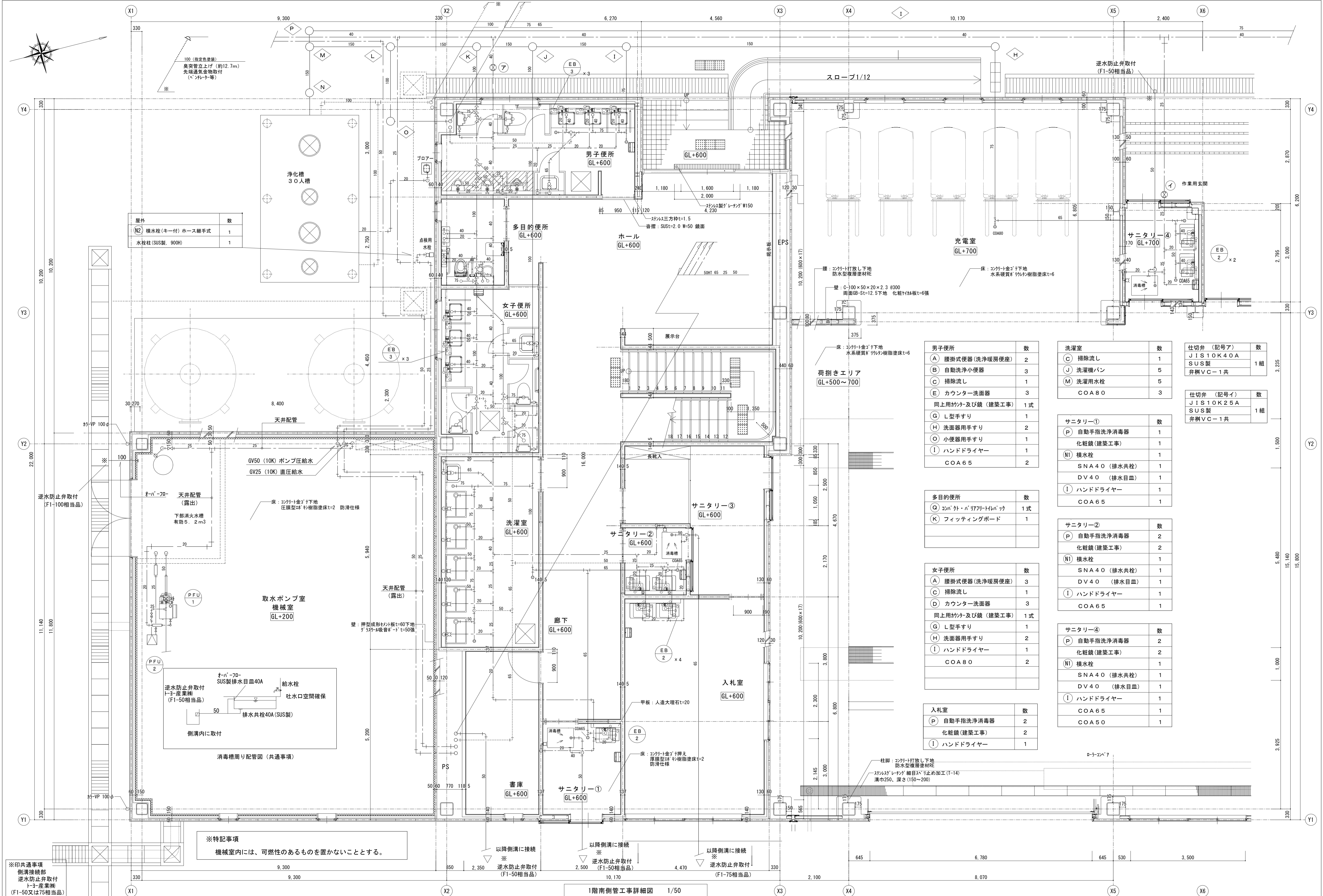
表示
荷さばき室各排水の横引(建築工事) 共通事項



3階管工事設備図 1/200



2階管工事設備図 1/200



屋外	数
(N2) 横水栓(キー付)ホース継手式 水栓柱(SUS製, 900H)	1

男子便所	数
(A) 腰掛式便器(洗浄暖房便座)	2
(B) 自動洗浄小便器	3
(C) 掃除流し	1
(E) カウンター洗面器	3
同上用かかと鏡(建築工事)	1式
(G) L型手すり	1
(H) 洗面器用手すり	2
(O) 小便器用手すり	1
(I) ハンドドライヤー	1
COA65	2

多目的便所	数
(G) コット・ハット架け	1式
(K) フィッティングボード	1

女子便所	数
(A) 腰掛式便器(洗浄暖房便座)	3
(C) 掃除流し	1
(D) カウンター洗面器	3
同上用かかと鏡(建築工事)	1式
(G) L型手すり	1
(H) 洗面器用手すり	2
(I) ハンドドライヤー	1
COA80	2

入札室	数
(P) 自動手指洗浄消毒器	2
化粧鏡(建築工事)	2
(I) ハンドドライヤー	1

洗濯室	数
(C) 掃除流し	1
(J) 洗濯機パン	5
(M) 洗濯用水栓	5
COA80	3

サニタリー①	数
(P) 自動手指洗浄消毒器	1
化粧鏡(建築工事)	1
(N) 横水栓	1
SNA40(排水共栓)	1
DV40(排水目皿)	1
(I) ハンドドライヤー	1
COA65	1

サニタリー②	数
(P) 自動手指洗浄消毒器	2
化粧鏡(建築工事)	2
(N) 横水栓	1
SNA40(排水共栓)	1
DV40(排水目皿)	1
(I) ハンドドライヤー	1
COA65	1

サニタリー④	数
(P) 自動手指洗浄消毒器	2
化粧鏡(建築工事)	2
(N) 横水栓	1
SNA40(排水共栓)	1
DV40(排水目皿)	1
(I) ハンドドライヤー	1
COA65	1
COA50	1

仕切弁(記号ア)	数
JIS10K40A	1組
SUS製	
弁柄VC-1共	

仕切弁(記号イ)	数
JIS10K25A	1組
SUS製	
弁柄VC-1共	

※特記事項
機械室内には、可燃性のあるものを置かないこととする。

※印共通事項
側溝接続部
逆水防止弁取付
ト-3産業機
(F1-50又は75相当品)

1階南側管工事詳細図 1/50